

県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

027 234 2376

3月号 (No 54)

2008年2月27日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://kenren.jccu.coop/gunma/>

Eメール: gunmakenren@coopnet.or.jp

たべる・たしせつ、くらし・安心をテーマに

2月24日(日)

消費者まつりを開催

2200名が、食・環境・健康・くらし・安全を考え合いました



2月24日、消費者まつりが県庁県民ホールとビジターセンター・県民ギャラリーで開催され、家族連れなど2,200人の消費者が参加しました。マルチビジョン前のイベント広場では前橋協立病院の伊東大吾医師の講演「メタボリック症候群と健康」や医療生協の「転倒予防体操」指導、群馬県くらしの会の国峯潑子会長ほかによるスライドトーク「悪徳商法被害にあわないために」やリフォームファッションショー、群馬県食品安全課食育推進グループによる「ゆうまちゃん劇場」、青年有志による和太鼓の演奏などが次々に行われました。



参加者には、生協の活動発表、商品の紹介、試食販売、医療生協の健康チェックや医師による健康相談、全労済の保障の見直し・相談、大学生協の活動紹介などをとおして、県内の生協について理解を深めていただきました。

前夜半から降り始めた雪が真っ白に積もるといふ“想定外”の出来事に不安をいだきながら開会を迎えましたが、車をやめて電車とバスを乗り継いで来てくれるなど大勢の組合員が県内各地から参加し、大成功となりました。

前夜半から降り始めた雪が真っ白に積もるといふ“想定外”の出来事に不安をいだきながら開会を迎えましたが、車をやめて電車とバスを乗り継いで来てくれるなど大勢の組合員が県内各地から参加し、大成功となりました。



群馬県と生協県連が共同開催

1月30日(水)

第3回改正生協法説明会を開催

改正生協法の施行を4月1日にひかえ、群馬県生協連は群馬県県民センターと共催で1月30日(水)、第3回改正生協法説明会を開催しました。

今までの2回の説明会がいずれも日本生協連からの報告であったのに対し、今回の説明会では、厚生労働省が行った行政向けの説明を受けて、群馬県が行政としてはじめて正式に行う説明会となりました。

講師となった県民センターの中島稔係長から、改正生協法及び模範定款例、政令・省令まで、総合的な説明があり、参加した県内生協の役員や担当職員



講演する中島稔係長

は説明を聞き漏らすまいと真剣に聞き入っ

ているようでした。定款・規約の改正の実務対応に関し、5月、6月の通常総代会で定款・規約等を変更することになりますが、経過措置のないものについては、4月1日以降は定款より



法律優先となること、従って、理事会開催や議事録作成などにあたり、定足数や署名方法などが4月1日以降、変更となるなどの注意を呼びかけました。

説明のあと、参加者から、みなし自由脱退や区分経理のこと、公告に関すること、会計規則のこと、役員選挙及び役員選任に関する質問などが次々に出され、中島稔係長から一つひとつお答えいただきました。

公正取引委員会が「群馬地区における消費者団体との懇談会」開催

生協県連、消団連など5消費者団体が参加

2月18日(月)

公正取引委員会が各地で開催している消費者団体との懇談会が、2月18日(月)群馬県庁で開かれました(群馬地区)。



消費者団体は、群馬県生協連、群馬県消団連、前橋市消団連、群馬県地婦連、食とみどり・水を守る県民会議から9名が参加しました。

公正取引委員会の内野雅美規約指導調整官から業務について概括的な説明があり、次いで會田奈津電子商取引係長から最近の具体的な行政指導等の事例について報告がありました。また、群馬県から景品表示法の運用状況について報告がありました。

消費者のために適正な表示をさせることを目的とする景品表示法を、より強化するために、課徴金や消費者団体訴訟制度の導入を検討しているとの報告もありました。

消費者団体から「タテ割り行政になっているのではないかと、各省庁間の連携を密にして消費者被害を食い止めて欲しい」という意見が出されると、「現場レベルでは情報交換を行なっているが、必ずしも充分ではない、福田総理の“情報一元化”発言もあり、警察や国民生活センターとの連携を強めいっそう共有化を図りたい」と、回答がありました。

「第2回地域語部(かたるべ)の会」を開催

2月16日(土)、ぐんま食の安全・安心県民ネットワークと群馬県の協働事業「第2回地域語部の会」が、高崎市のビエント高崎で79名が参加者して開催されました。

第一部の基調講演では「食品表示と食品の安全性」をテーマに、(株)食品科学広報センター代表取締役の正木英子先生から講演をいただきました。期限表示や原料原産地表示など最近の具体的な事例を交えて、食品表示制度の基本的内容について解説し事業者の信頼確保のための取組みと、消費者の立場を最優先した食品表示の適正化の取組み等についてお話していただきました。

第二部は「食品表示適正化の取組み」をテーマに、パネルディスカッションを行い、会場とも意見交換を行いました。

消費者からはアレルギー表示への関心やマスコミ報道の影響による不安、食品表示の適正化をしっかりと欲しいという意見がだされました。事業者からは、全社的に食品表示の適正化を進めるために群馬県の適正表示推進事業所登録の認定を受けたこと、産地表示の徹底やクレーム対応の大変なこと等が報告されました。行政からは、群馬県では食品表示をわかりやすく解説するために、独自に食品表示ハンドブックを作成したこと、食品の原産国表示の解説、期限表示の考え方等が報告されました。



<パネルディスカッションの出演者>

コメンテーター：正木英子氏((株)食品科学広報センター代表取締役)

パネリスト：(消費者)荒川香苗氏(NPO法人市民メディアペーパーみんとかんばんにー代表理事)
(事業者)八木 孝氏((株)ベシア生鮮部長)
(行政)須野原修氏(群馬県食品安全課次長)

コーディネーター：小澤 邦寿氏(群馬県食品安全会議事務局長)

マイバッグ持参運動と間伐材割り箸使用をスタート 県庁生協 群馬県と「地球温暖化対策に関する協定書」を締結

群馬県庁生協(本部：前橋市)では環境問題への取り組みを進めていますが、2007年12月には県との間に「地球温暖化対策に関する協定書」を締結しました。そうした取り組みの中で県庁生協は、2月1日からは、県庁舎地下の売店「フォレスト21」で使用しているレジ袋の有料化を開始しました。

県庁生協オリジナルマイバッグやその他のマイバッグの使用を呼びかけ、県庁生協で年間20万枚使われているレジ袋を削減しようという狙いです。どうしても使用する方には1枚につき5円をプリペイドカードまたは現金で支払ってもらい、売り上げは全額を環境関係団体に寄付することになっています。当面はフォレスト21だけで実施し、状況を見て前橋・高崎・沼田の各売店に拡大していく予定です。



また、1月4日からは県庁、前橋合同庁舎、利根沼田県民局庁舎の全食堂で、プラスチック製塗り箸から国産間伐材を利用した割り箸へ切り替えを行いました。一見ゴミが増えるような懸念もありますが、使用済みの割り箸は回収して、割り箸製造の乾燥工程でボイラーの燃料として活用したり、建築資材としてリサイクルされるそうです。

(情報提供：群馬県庁生協)

J A群馬中央会・上毛新聞社・フートピア21主催

2月16日(土)

「新・主食文化」パネルディスカッションに参加

2月16日、ウェルシティ前橋で「新・主食(ごはん)文化」が開催されました。

“幸せ料理研究家” こうちゃん(相田孝二氏)が、トークショーの中で、『茹で豚のさっぱりネギ塩たれ丼』を作り、おいしい県内産のお米、肉、野菜の利用をアピールしました。

2部のパネルディスカッションは、J A群馬中央会の渋谷襄専務理事、こうちゃんとともに、県連女性協林かの子会長がパネラーとなり、座談会を行いました。林会長は、食と農業を考える県内生協の取り組みを紹介し、女性協では、3月29日に「消費者と生産者で日本の農業を考える」学習交流会を準備していることなども報告していました。



組合員学習交流会(県連女性協主催)

「食の安全と日本の農業」～消費者と生産者で日本の農業を考える～

3月29日(土)10時30分～12時30分

前橋市総合福祉会館

○パフォーマンスで問題提起

○基調講演 「食の安全と日本の農業」

講師：J A群馬中央会農業対策部

齊藤尚登部長

○会場との意見交換(質疑応答・意見表明など)

参加無料・軽食
を用意します。

お知らせ

3月21日(金)までにお申込み下さい

保育を希望される方は
3月17日(月)まで
にお申込み下さい。

●●● 県連便り ●●●

県連活動日程

- 2月28日～29日 職域生協協議会全国研究会
- 29日 学校生協臨時総代会
- 3月3日 県連事務局会議
- 6日 地連地連組合員活動委員会、前橋市消団連生活大学
- 7日 北海道東北地連の視察対応
- 10日 食の安全県民ネット第6回役員会
- 12日 女性協懇談会(学校生協)女性協運営委員会
- 13日 第6回理事会、食の安全消費者連絡会議
- 14日 都県連事務局会議
- 18日 消費者まつり第5回実行委員会
- 19日 群馬県薬事審議会
- 21日 第1回組織部会
- 29日 女性協組合員学習交流会「食の安全と日本の農業」

お知らせ

前橋市消団連主催

生活大学のご案内

テーマ

社会保障とその財源

講師：小川弘巳氏

群馬県社会保障協議会事務局次長

3月6日(木)13:30～15:30

群馬県勤労福祉センター第3会議室

参加費：無料

お申込み お問い合わせ

前橋市消団連事務局 027-234-2376 (県生協連内)
コープぐんま組合員活動グループ 0277-52-9628